



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <http://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 古谷岳夫 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	75,953	1.5	7,849	26.5	8,532	40.5	5,607	43.2
27年3月期第1四半期	74,815	3.3	6,206	△28.5	6,071	△39.3	3,916	△36.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 5,326百万円 (122.2%) 27年3月期第1四半期 2,397百万円 (△70.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	24.73	24.68
27年3月期第1四半期	17.27	17.24

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	405,183	219,372	53.0
27年3月期	399,512	215,631	52.9

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 214,774百万円 27年3月期 211,217百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	ー	7.00	ー	7.00	14.00
28年3月期	ー				
28年3月期(予想)		7.00	ー	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	155,000	1.1	15,000	3.4	15,000	△3.6	11,000	21.9	48.50
通期	320,000	4.1	32,000	13.3	32,000	2.9	23,000	20.5	101.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	242,075,556株	27年3月期	242,075,556株
28年3月期1Q	15,287,009株	27年3月期	15,286,593株
28年3月期1Q	226,788,775株	27年3月期1Q	226,791,121株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は平成27年7月29日(水)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間を振り返りますと、国内経済は緩やかな回復基調が持続しているものの、新興国の景気拡大の陰りや欧州経済の先行きに対する不透明感など世界経済の下振れ懸念はなお拭えず、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZΣ運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### (エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、海外向けを中心に販売数量を伸ばしましたが、市況価格悪化の影響を受けたため、全体の売上高は前年同期を下回りましたが、営業利益は前年同期を上回りました。

合成ラテックス関連では、国内製紙用途での需要低迷による影響があったものの、海外手袋用途での旺盛な需要および円安を背景に販売が好調に推移したことから、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

化成品関連では、国内市場での需要低迷による販売低調の影響があったものの、特に石油樹脂の旺盛な需要および円安を背景に、タイ子会社を含めた海外市場での販売が好調に推移したため、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期に比べて、6億58百万円増加し468億9百万円、営業利益は前年同期に比べて、14億62百万円増加し56億52百万円となりました。

#### (高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、光学用途等の販売が堅調であった一方で、医療用途では顧客在庫調整等の影響を受けました。高機能部材関連では、テレビ向け光学フィルムの販売が堅調に推移したことに加え、中小型向け光学フィルムの販売も好調でした。この結果、高機能樹脂および部材全体では、売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

情報材料関連では、電池材料は販売が堅調でしたが、電子材料およびトナーの売上高は前年同期を下回りました。この結果、情報材料全体では、売上高は前年同期を下回りましたが、営業利益は前年同期を上回りました。

化学品関連では、合成香料、特殊化学品ともに顧客在庫調整等の影響を受けましたが、円安を背景とした輸出環境の改善により収益性が向上しました。この結果、全体の売上高は前年同期を下回りましたが、営業利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期に比べて、9億94百万円増加し176億45百万円、営業利益は前年同期に比べて、2億88百万円増加し19億4百万円となりました。

#### (その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は前年同期に比べて、5億93百万円減少し120億41百万円、営業利益は前年同期に比べて、1億50百万円増加し5億39百万円となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日に公表しました業績見通しの数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

#### 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）および流動負債（その他）として繰り延べております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この変更による、損益及び資本剰余金への影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,151	11,918
受取手形及び売掛金	70,970	70,715
電子記録債権	720	577
商品及び製品	43,299	44,747
仕掛品	4,393	5,039
原材料及び貯蔵品	13,543	12,203
未収入金	32,284	28,512
繰延税金資産	3,231	3,065
その他	4,115	4,683
貸倒引当金	△95	△95
流動資産合計	176,609	181,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,455	42,738
機械装置及び運搬具(純額)	55,187	54,666
土地	18,371	18,429
建設仮勘定	11,965	13,064
その他(純額)	6,249	6,183
有形固定資産合計	134,227	135,080
無形固定資産		
その他	5,262	5,010
無形固定資産合計	5,262	5,010
投資その他の資産		
投資有価証券	75,972	76,420
退職給付に係る資産	44	49
繰延税金資産	618	593
その他	7,177	7,062
貸倒引当金	△397	△395
投資その他の資産合計	83,414	83,729
固定資産合計	222,903	223,819
資産合計	399,512	405,183

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,466	61,993
電子記録債務	796	1,430
短期借入金	18,220	20,923
コマーシャル・ペーパー	10,000	2,500
未払法人税等	3,902	2,656
賞与引当金	1,977	233
その他の引当金	531	1,940
その他	23,282	20,844
流動負債合計	119,174	112,519
固定負債		
社債	10,000	20,000
長期借入金	20,669	19,831
繰延税金負債	12,908	13,053
退職給付に係る負債	14,209	13,970
その他の引当金	1,461	974
その他	5,460	5,464
固定負債合計	64,707	73,292
負債合計	183,881	185,811
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	18,514	18,514
利益剰余金	148,285	152,305
自己株式	△12,737	△12,738
株主資本合計	178,273	182,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,350	28,618
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	7,666	6,892
退職給付に係る調整累計額	△3,072	△3,029
その他の包括利益累計額合計	32,943	32,482
新株予約権	304	312
非支配株主持分	4,111	4,286
純資産合計	215,631	219,372
負債純資産合計	399,512	405,183

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	74,815	75,953
売上原価	55,369	54,070
売上総利益	19,446	21,883
販売費及び一般管理費	13,241	14,033
営業利益	6,206	7,849
営業外収益		
受取利息	31	29
受取配当金	397	546
為替差益	—	376
雑収入	279	149
営業外収益合計	708	1,099
営業外費用		
支払利息	206	147
為替差損	400	—
休止固定資産減価償却費	169	135
雑損失	68	134
営業外費用合計	842	416
経常利益	6,071	8,532
特別利益		
受取補償金	—	138
その他	891	1
特別利益合計	891	139
特別損失		
固定資産処分損	547	32
その他	4	0
特別損失合計	551	32
税金等調整前四半期純利益	6,412	8,639
法人税等	2,399	2,877
四半期純利益	4,013	5,762
非支配株主に帰属する四半期純利益	96	154
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,916	5,607



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	4,013	5,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△642	285
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	△1,046	△765
退職給付に係る調整額	71	43
その他の包括利益合計	△1,616	△436
四半期包括利益	2,397	5,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,304	5,146
非支配株主に係る四半期包括利益	92	180

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上 高	45,674	16,651	62,325	12,489	74,815	—	74,815
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	476	—	476	145	621	△621	—
計	46,150	16,651	62,802	12,634	75,436	△621	74,815
セグメント利益	4,190	1,616	5,806	389	6,195	11	6,206

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額11百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上 高	46,370	17,645	64,015	11,938	75,953	—	75,953
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	439	—	439	103	542	△542	—
計	46,809	17,645	64,454	12,041	76,495	△542	75,953
セグメント利益	5,652	1,904	7,556	539	8,096	△246	7,849

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△246百万円は、セグメント間取引消去13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△260百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。